

茅ヶ崎市の取り組みについて

1. 上赤羽根地区アンケート調査
2. バス停リニューアル
3. 茅ヶ崎駅北口周辺交通環境改善検討

1. 上赤羽根地区アンケート調査

1-1 調査概要

- ・上赤羽根地区への新たな交通の導入に向けた基礎データとするため、移動実態やニーズ等を把握することを目的にアンケート調査を実施。
- ・調査期間 : 平成28年7月～8月末
- ・対象地域 : 上赤羽根地区全世帯(約220世帯)
- ・対象者 : 高校生以上の最大4名まで回答可
- ・調査方法 : 自治会による配布・回収
- ・配布数 : 220通(世帯)
- ・回収数 : 145通(世帯)
- ・回収率 : 64%
- ・回収人数 : 340人(1世帯あたり2.3人回答)



図 調査地域

1-2 家族票

- ・居住地は、西南側が65.5%（95世帯）と大半を占め、東南側が27.6%（40世帯）、北側が4.1%（6世帯）。
- ・1人世帯は8.3%（12世帯）と少数で89.0%は2人以上の世帯。
- ・自家用車がない世帯は11.0%（16世帯）、2台以上の世帯が43.4%（63世帯）。

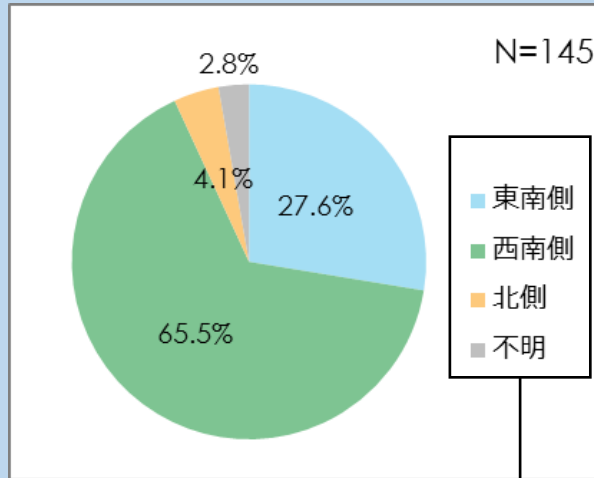


図 居住地

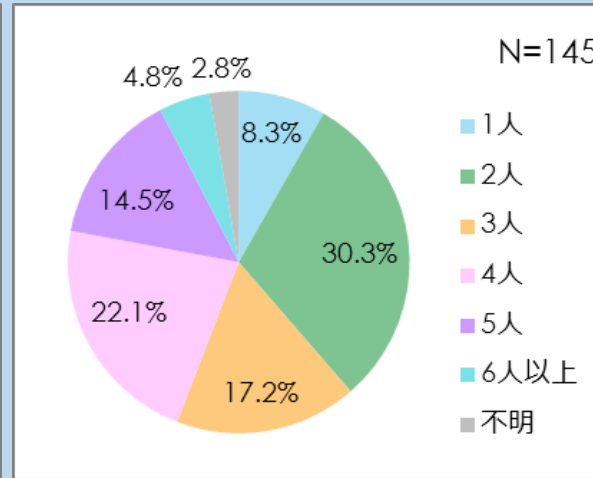


図 家族構成

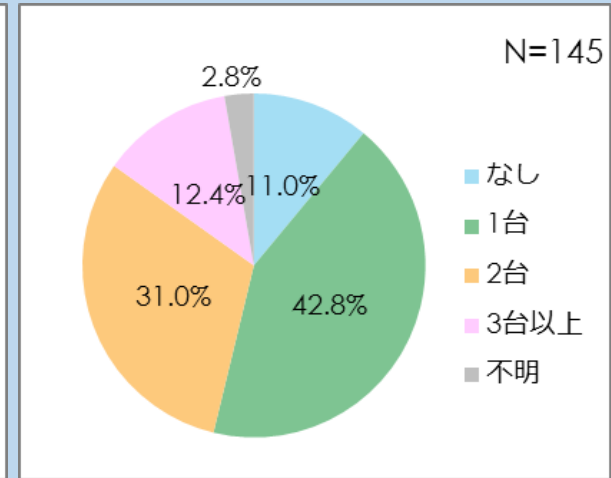


図 自動車保有台数

1-3 個人票 (1)性別・年齢・職業

- ・男女比は、ほぼ半数で性別に差はない。
- ・年齢は、各世代から回答があり、65歳以上の高齢者は35.0% (119人)。
- ・職業は、会社員等が24.7%(84人)と最も多く、次に無職(定年等)が19.7%。(67人)。

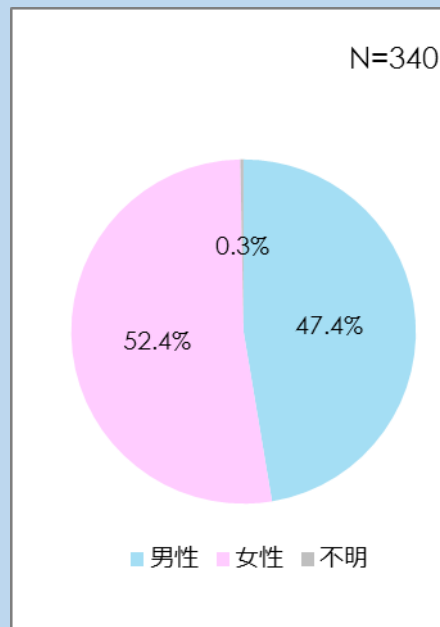


図 性別

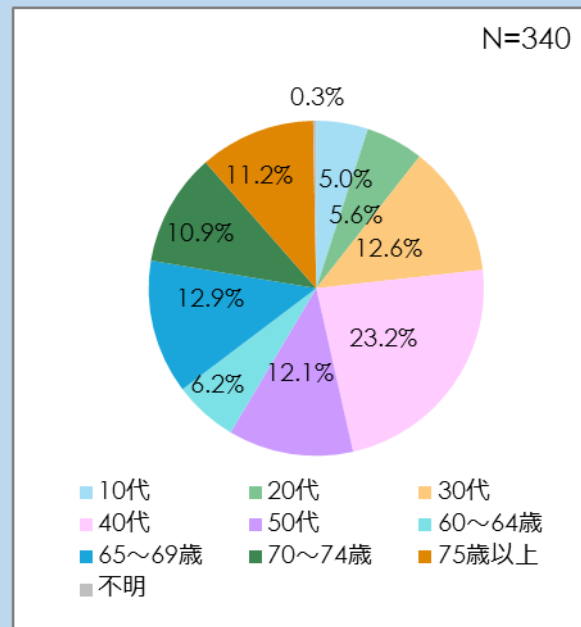


図 年齢

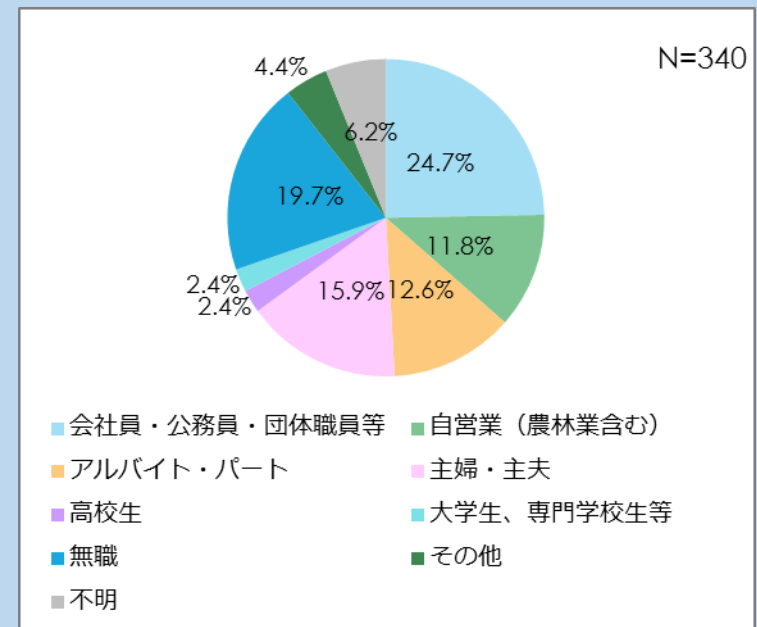


図 職業

1-3 (2) 日常の最もよく出かける移動実態

① 外出目的・目的地

- ・通勤・通学が最も多く50.0%、次に買物が33.5%。
- ・外出目的の最もよく出かける目的地は、辻堂駅周辺が43.5%と集中しており、茅ヶ崎駅を含むその他の場所は10%前後と分散。

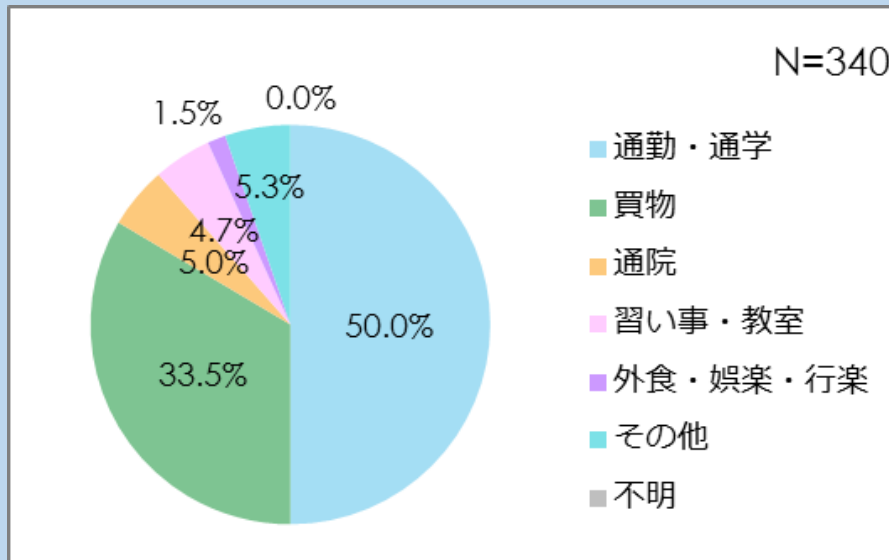


図 外出目的

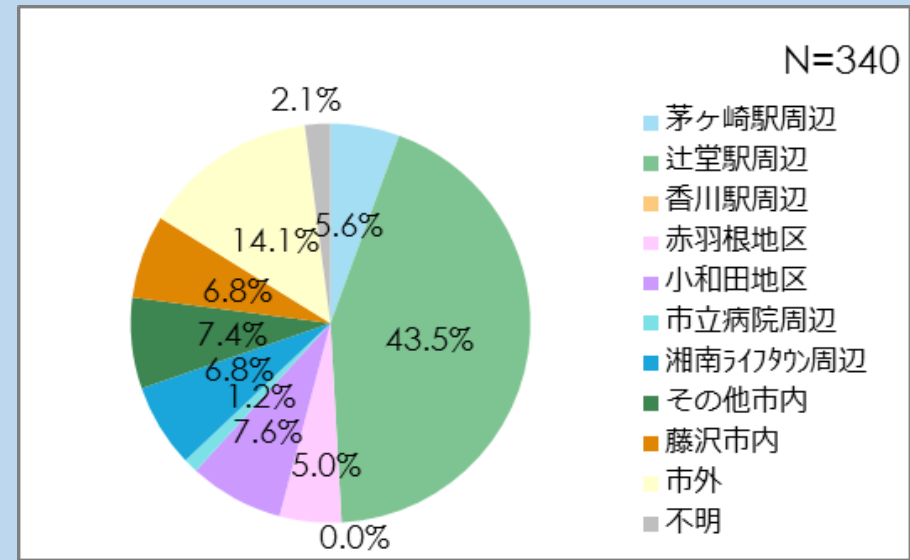


図 目的地(行き先)

1-3 (2) 日常の最もよく出かける移動実態

② 交通手段

- ・最もよく出かける目的地までの交通手段は、自動車(自分で運転)が50.0%(170人)を占め最も多い。
- ・次に自転車が27.6%(94人)を占め、自動車(家族の送迎)と徒歩のみが同数で17.9%(61人)。
- ・地域公共交通としては、路線バスが9.1%(31人)、コミュニティバスが0.6%(2人)、タクシーが5.9%(20人)。

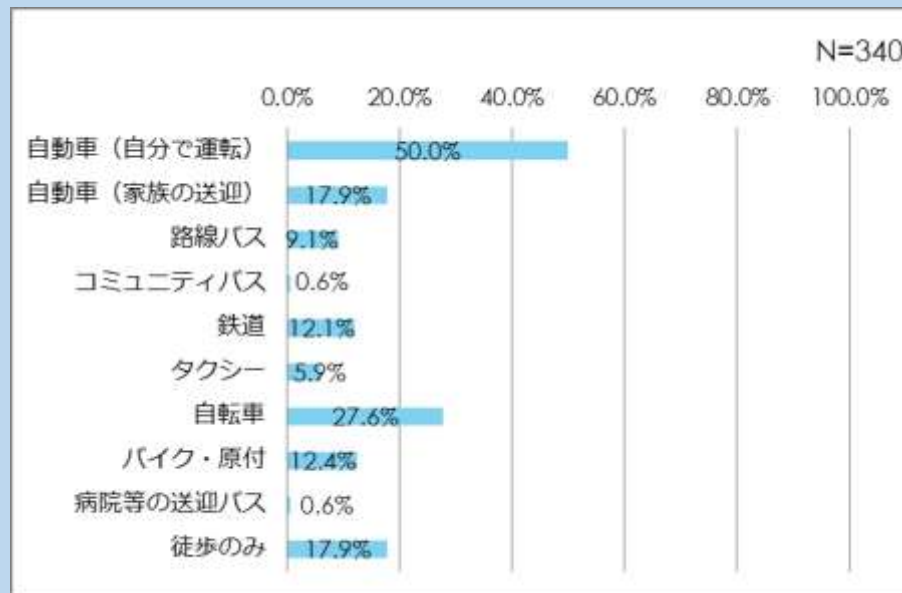


図 交通手段(複数回答)

1-3 (2) 日常の最もよく出かける移動実態

③ 外出時間帯・外出頻度

- ・朝は7時台、8時台が多く、夕方は18時台が多い。
- ・外出頻度は、ほぼ毎日が57.4%（196人）、週に数日が35%（119人）。

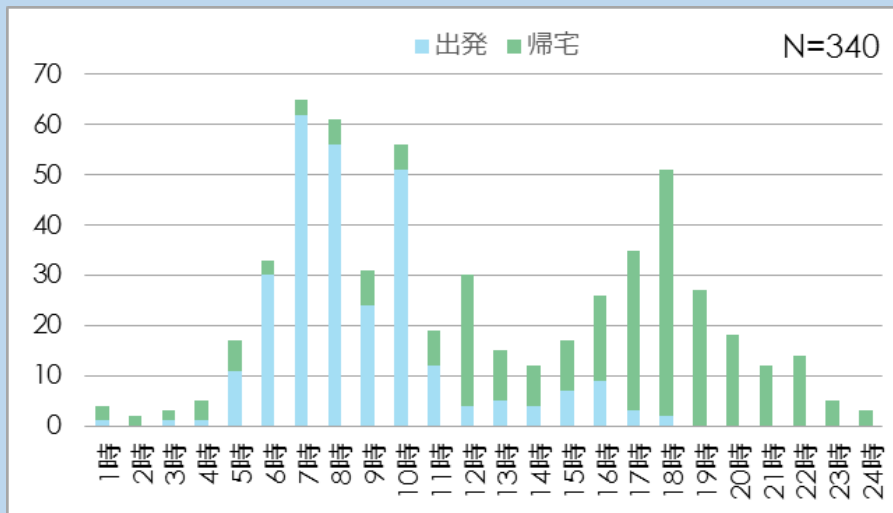


図 外出時間帯

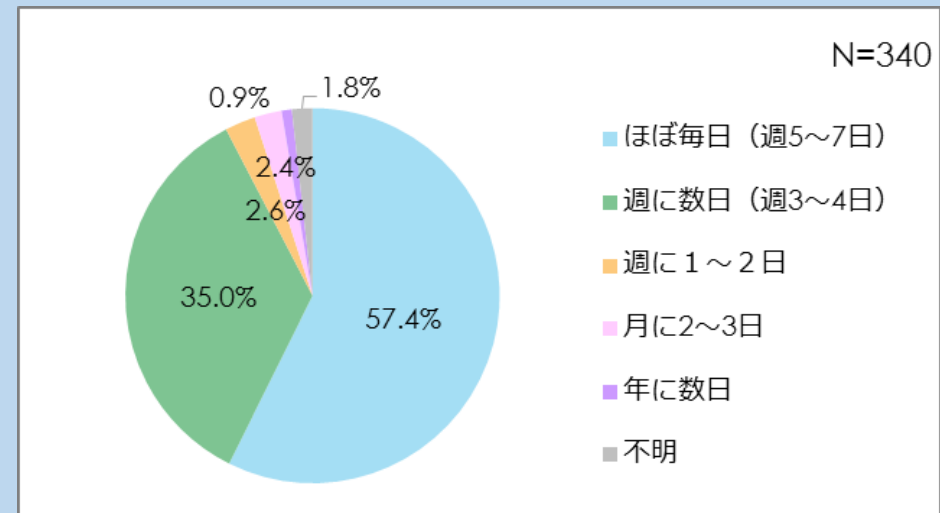


図 外出頻度

1-3 (3) 公共交通サービスの意向

① 日常の移動手段について

- ・ 日常の移動手段について、「困っていないが将来は不安」という方が45.0%(153人)と最も多く、「困っていない」の20.0%(68人)を含む「困っていない」方は、65.0%(221人)。
- ・ **潜在需要**となり得る日常の移動手段に困っている方は、29.7%(101人)。

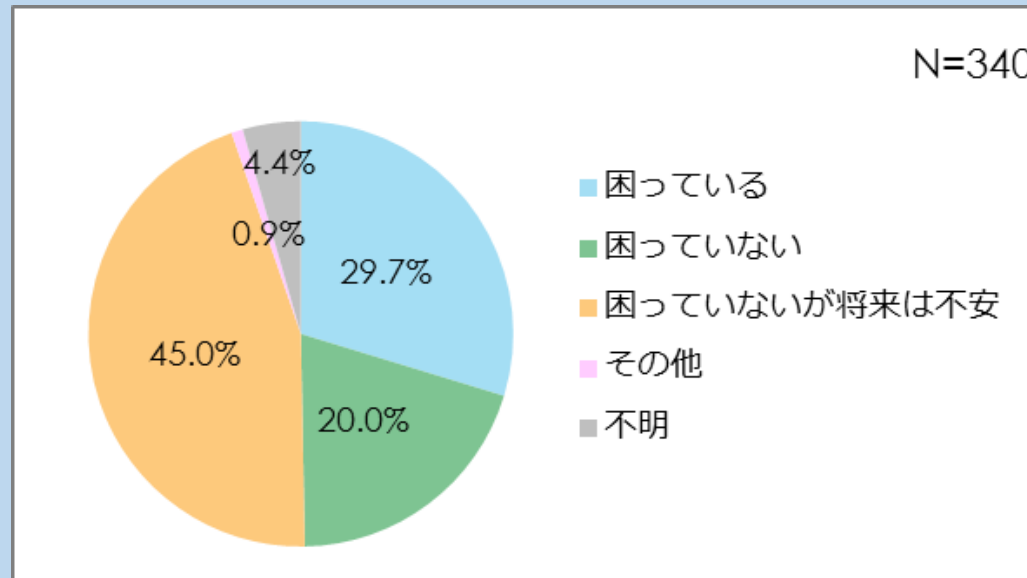


図 日常の移動手段について

1-3 (3) 公共交通サービスの意向

② 潜在需要(101人)の希望する行き先・手段

- ・辻堂駅に行く交通手段を希望する方が87.1%(88人)。
- ・路線バスを利用したい方が78.2%(79人)、コミュニティバスを利用したい方が76.2%(77人)。
- ・病院などの送迎バスが20.8%(21人)。
- ・予約型乗合バスが11.9%(12人)。

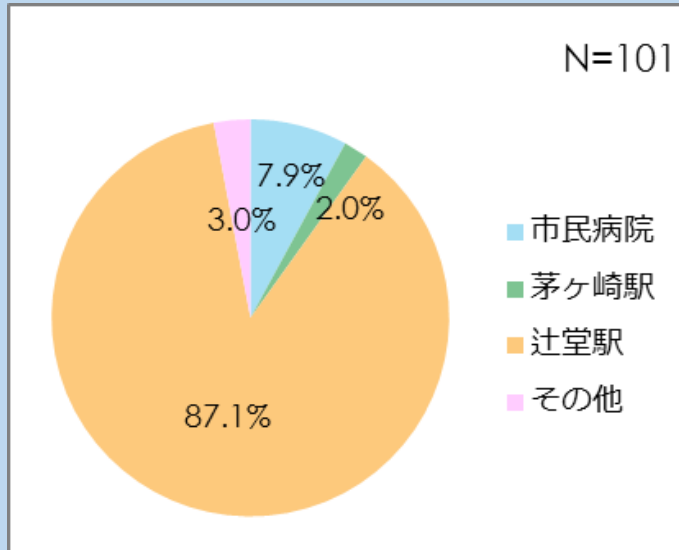


図 希望する公共交通の行き先

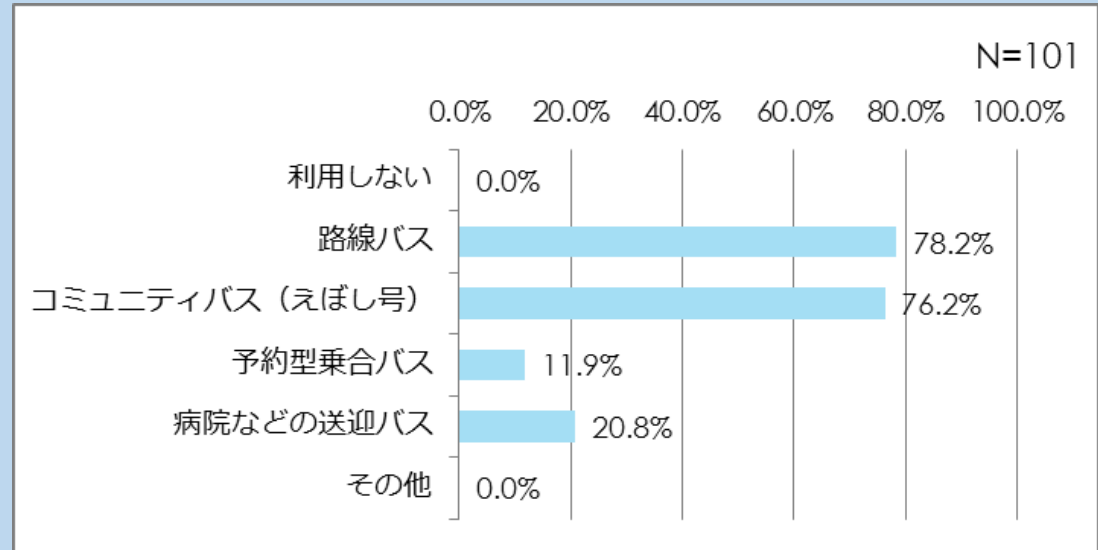


図 利用したい交通手段(複数回答)

1-3 (3) 公共交通サービスの意向

③ 潜在需要(101人)の希望する運行間隔・利用頻度

- ・30分間隔なら利用する方が最も多く、55.4%(56人)。
- ・次に、15分間隔なら利用する方が30.7%(31人)。
- ・コミュニティバスと同程度の運行間隔の60分間隔が13.9%(14人)、90分間隔は0人。
- ・利用頻度は、「週に数日」が最も多く41.6%(42人)、次に「ほぼ毎日」が38.6%(39人)。

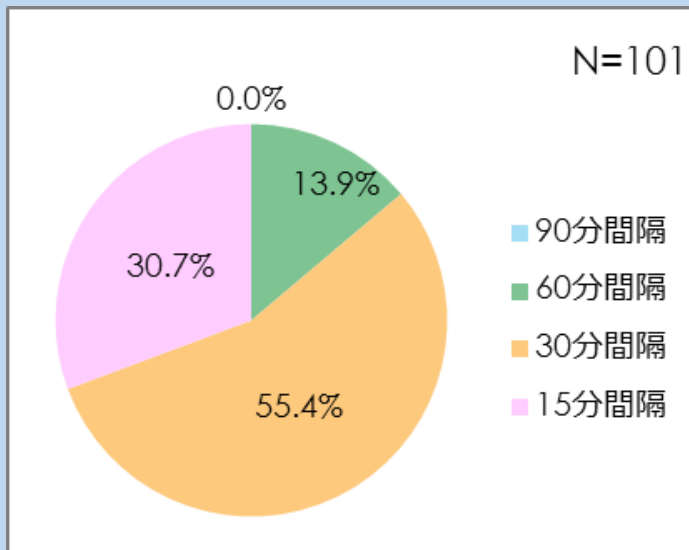


図 利用する運行間隔

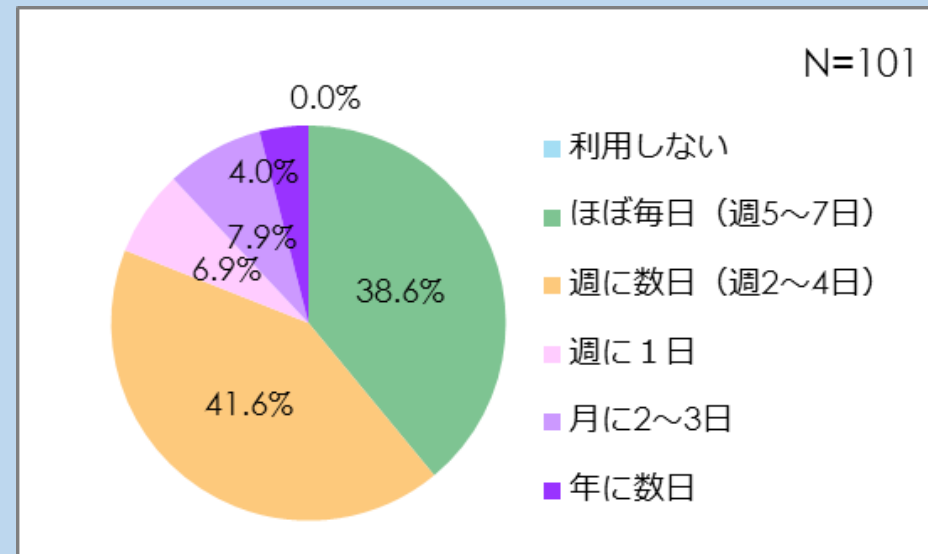


図 利用頻度

1-4 需要予測 (1)概要①

■ 潜在需要の対象者

- ・アンケートで「日常の移動手段に困っている」と回答した方(101人)を潜在需要の対象者と位置づける。

■ 日利用需要の計算方法

- ・アンケートの希望する行き先の潜在需要対象者の回答した
”利用頻度係数の和” × 2(往復) = ”日利用需要”
- ・上赤羽根地区の全世帯調査のため、未回答者は移動に困っていない需要対象外と考え、地域全体への拡大計算は行わない。

利用頻度	計算方法	利用頻度係数
ほぼ毎日(週5~7日)	6日 ÷ 7日	0.86
週に数日(週2~4日)	3日 ÷ 7日	0.43
週に1日	1日 ÷ 7日	0.14
月に2~3日	2.5日 ÷ 30日	0.10
年に数日	2.5日 ÷ 365日	0.01

1-4 需要予測 (1)概要②

■サービス水準による日利用需要の絞り込み

- ・運行間隔や時間帯等のサービス水準により、利用可否が判断。
- ・コミュニティバスと同様のサービス水準で利用すると回答した方の比率で日利用需要を絞り込む

□ 運行間隔による日利用需要の絞り込み

- ・コミュニティバスと同様の60分間隔以上で利用すると回答した比率

□ 日利用需要 × 利用する運行間隔比

□ 運行時間帯による日利用需要の絞り込み

- ・コミュニティバスと同様の運行時間帯で利用すると回答した比率

□ 日利用需要 × 日常の外出時間帯比

	人数	割合
90分間隔	0	0%
60分間隔	14	14%
30分間隔	56	55%
15分間隔	31	31%
合計	101	100%

図 潜在需要の利用する運行間隔

※既存コミバス70分～90分間隔

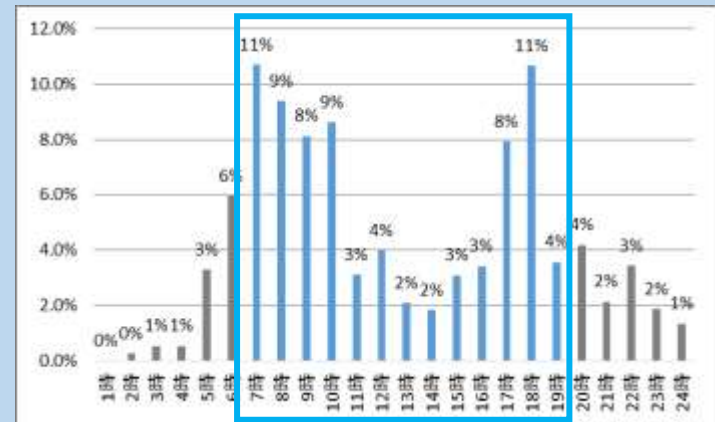


図 潜在需要の日常の外出時間帯

1-4 (2) 日利用需要の算出パターン

■パターン①: 移動に困っている方(全員)

「日常の移動手段に困っている」と回答した全員。

⇒マイカー移動や路線バスの利用者など公共交通への転換が難しい方を含んでいるため参考値。

■パターン②: 移動に困っている方(マイカー除く)

「日常の移動手段に困っている」と回答した方。

ただし、マイカー移動からの直ぐの転換は難しいと考え、日常の移動実態で自動車(自分で運転)と回答した方を除く。

■パターン③: 移動に困っている方(家族送迎のみ)

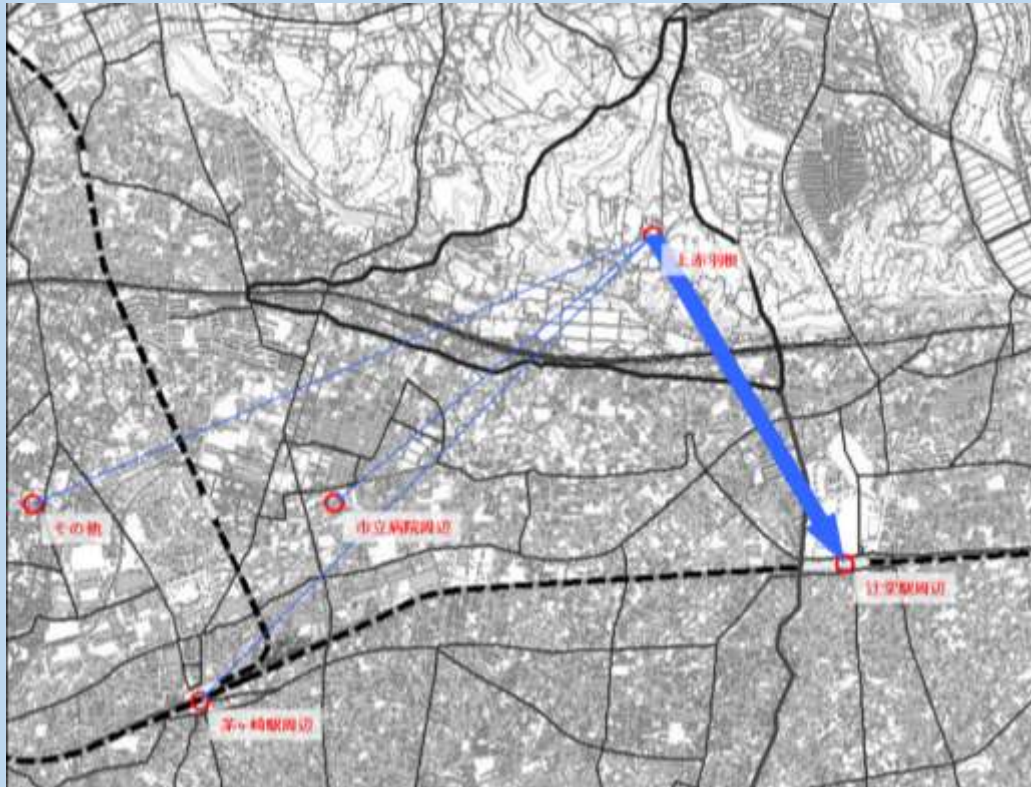
「日常の移動手段に困っている」と回答した方。

ただし、転換の可能性が高いと考えられる日常の移動実態で自動車(家族送迎)と回答した方のみを対象。

1-4 (3) 日利用需要

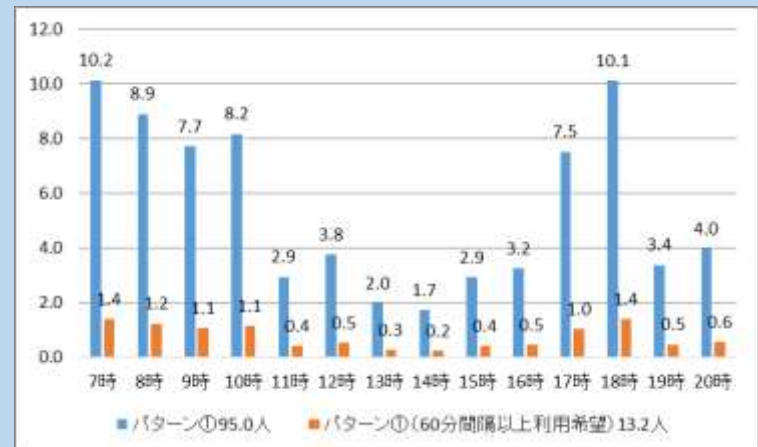
パターン①: 移動に困っている方(全員)

- ・辻堂駅周辺が最も多く95.0人/日。
- ・60分間隔以上の利用は、13.2人/日。
- ・時間帯あたりの利用は、約1人。



	茅ヶ崎駅 周辺	辻堂駅周 辺	市立病院 周辺	その他	合計
上赤羽根地区	2.8	95.0	2.0	3.6	103.4

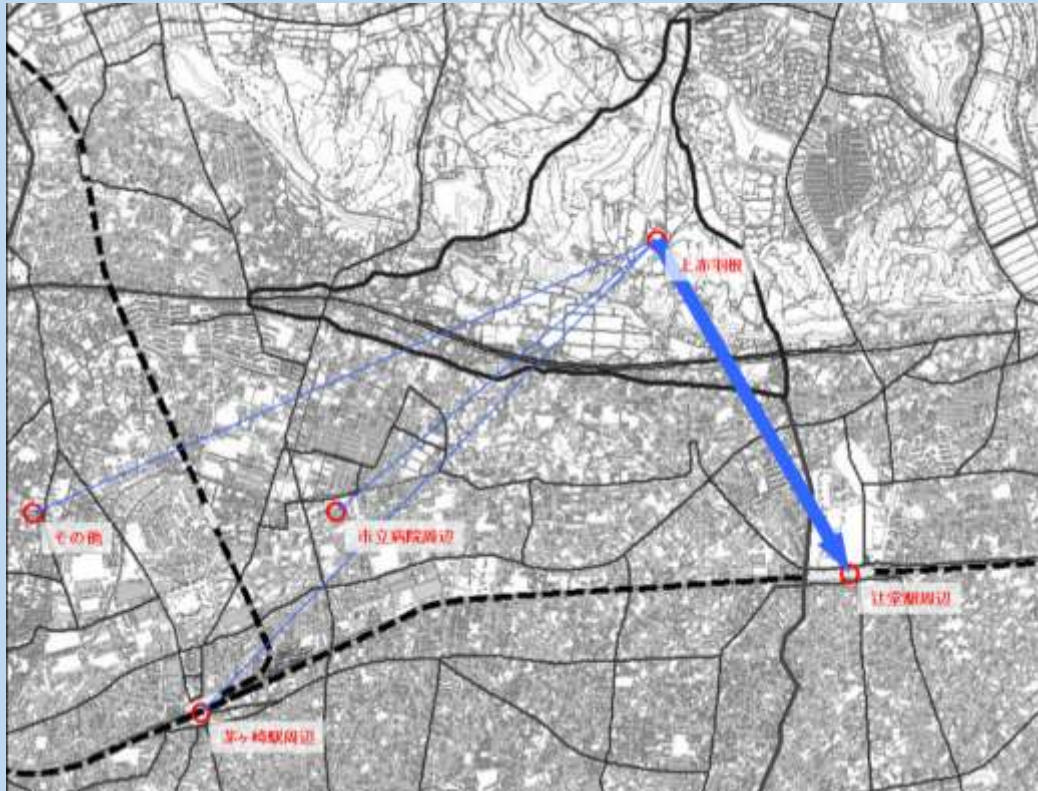
利用する 運行間隔	辻堂駅 周辺	
90分間隔	0%	0.0
60分間隔	14%	13.2
30分間隔	55%	52.7
15分間隔	31%	29.2
合計	100%	95.0



1-4 (3) 日利用需要

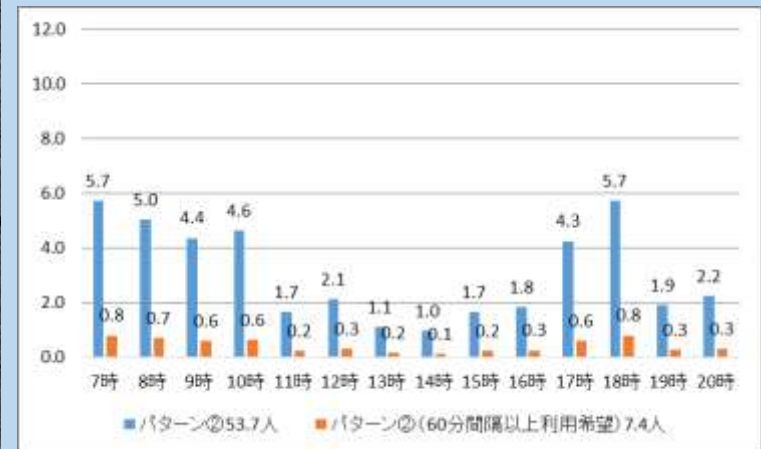
パターン②: 移動に困っている方(マイカー除く)

- ・辻堂駅周辺が最も多く53.7人/日。
- ・60分間隔以上の利用は、7.4人/日。
- ・時間帯あたりの利用は、1人未満。



	茅ヶ崎駅 周辺	辻堂駅周 辺	市立病院 周辺	その他	合計
上赤羽根地区	0.9	53.7	1.1	3.6	59.3

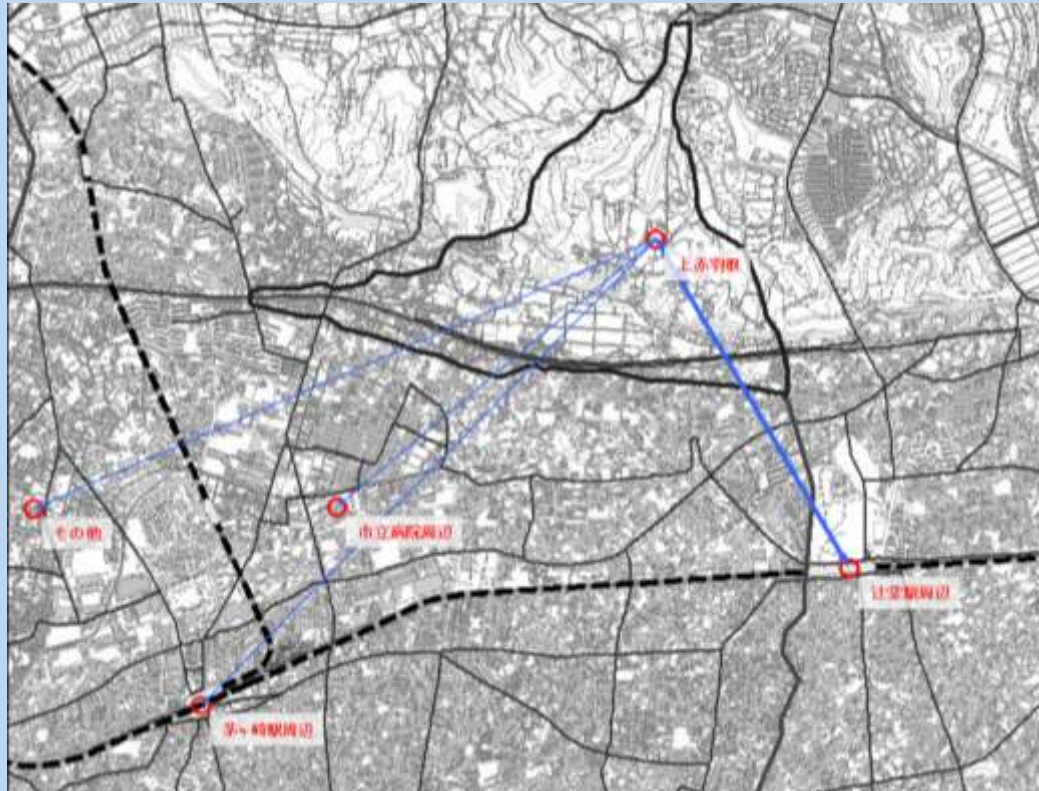
利用する 運行間隔	辻堂駅 周辺	
90分間隔	0%	0.0
60分間隔	14%	7.4
30分間隔	55%	29.8
15分間隔	31%	16.5
合計	100%	53.7



1-4 (3) 日利用需要

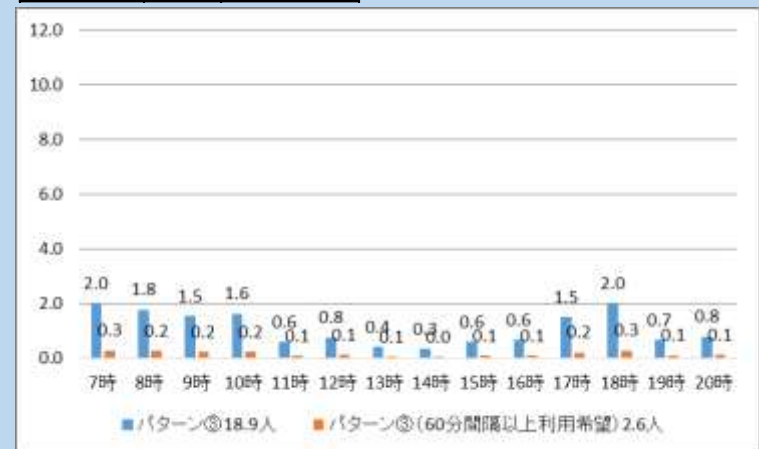
パターン③: 移動に困っている方(家族送迎のみ)

- ・辻堂駅周辺が最も多く18.9人/日。
- ・60分間隔以上の利用は、2.6人/日。
- ・時間帯あたりの利用は、1人未満。



	茅ヶ崎駅 周辺	辻堂駅周 辺	市立病院 周辺	その他	合計
上赤羽根地区	0.9	18.9	0.9	0.9	21.5

利用する 運行間隔	辻堂駅 周辺	
90分間隔	0%	0.0
60分間隔	14%	2.6
30分間隔	55%	10.5
15分間隔	31%	5.8
合計	100%	18.9



1-4 (4) 日利用需要のまとめ

■ 行き先

- ・辻堂駅周辺への移動ニーズが約90%を占め、茅ヶ崎駅や市立病院などの市内への移動ニーズは低い。

⇒ 辻堂駅への運行が望ましい。

■ 日利用需要

- ・日利用需要は、パターン②③より、最大19人から54人と予測。
- ・そのうち、コミュニティバスと同様の60分間隔以上の利用に絞ると2.6人/日から7.4人/日。
- ・さらに、時間帯あたりでは、1人未満。
- ・バス輸送は、乗車定員11人以上の車両を用いて定時定路を運行する形態。

⇒ 1便(時間)あたり1人未満のため、大量輸送機関のバス導入には、不向きと考えられる。

1-5 (1) 今後の取り組みについて

■茅ヶ崎市の地域公共交通導入の考え方

- ・茅ヶ崎市乗合交通整備計画(平成16年度～平成32年度)に基づきコミュニティバス等を導入【実施中】
- ・次期計画(平成32年度～)は、国が推進する地域公共交通網形成計画(法定計画)に基づき、茅ヶ崎市全体計画を検討・策定予定

■計画見直しまでの小需要の地域公共交通の確保に向けて

- ・小需要における他地域の取り組み事例調査
 - ＞考えられる交通手段メニュー ⇒ 地域協働運行 等
 - ＞持続可能な工夫内容 ⇒ 隔日運行、事業者(運転手)
 - ＜移動をあきらめている方の外出機会創出の取り組みも必要
- ・地域との意見交換(勉強会)

1-5 (2)地域協働による地域公共交通

■地域協働による地域公共交通の導入

- ・路線バス、コミュニティバスの導入が困難な地域に、地域住民が運行主体となった運行を導入する自治体が増加
- ・横浜市、川崎市、藤沢市、相模原市、厚木市、秦野市などで導入

■藤沢市の事例(のりあい善行)

- ・自治会費、支援金、協賛金(企業・個人)を資金とする運行形態を目指し、地域主体で進める「のりあいタクシーの実証運行」をH24年度より実施
- ・運行主体は、「善行地区郷土づくり推進会議」からNPOにH28年4月から移行し、継続運行(検証)中



■運行概要

事業主体	NPO法人のりあい善行
運行日	平日
運行時間帯	午前9時台から午後5時台
運行回数	2系統 各1日12回
運賃	大人300円(※サポーター会員は250円) 子供100円 未就学児は大人1名につき2名まで無料
運行事業者	株式会社湘南相中

■年会費

	個人	団体
正会員	10,000円	10,000円
サポート 会員	1口1,000円 (3口以上)	1口1,000円 (5口以上)



1-6 調査票 (1) 家族票

上赤羽根地区の住民移動実態アンケート調査票

【本アンケート調査の記入方法について】

- ・該当する番号に ○印 をつけてください。または、[] 内にご記入ください。
- ・ご家族のうち、高校生以上の方、最大4名までご回答ください。(1人1枚)
(ご本人以外の代筆でも結構です。)
- ・家族票は、どなたか代表者1名の方のみご記入ください。
- ・個人票は、表裏1枚の調査票が4枚(回答者①～回答者④)ありますので、4人以上ご家族がいらっしゃる方は、4名分の回答で結構です。

【アンケート調査票の返送について】

- ・ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れ、必ず封を閉じて平成28年8月24日(水)までに上赤羽根地区の組長様へご提出をお願いします。(切手は不要)

家 族 票

あなたの居住地や家族構成等について、ご家族のうち、代表者の1名様にご回答ください。

番号	設問	回答欄
I	あなたの居住地について 該当する地図上の番号を ご回答ください。	1. ① 東南側 2. ② 西南側 3. ③ 北側 
II	家族構成についてご回答 ください。	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上
III	自動車保有台数について ご回答ください。	1. なし 2. 1台 3. 2台 4. 3台以上

個人類 回答者① 【裏面】

【質問3】望まれる公共交通について教えてください。

番号	設問	回答欄
3-1	現在の日常の移動手段について、 どのようにお考えですか。 【1つだけ回答】	1. 困っている 2. 困っていない 3. 困っていないが将来は不安 4. その他[]
3-2	どこに行く公共交通があればよいと 思いますか。 【1つだけ回答】	1. 市民病院 2. 茅ヶ崎駅 3. 辻堂駅 4. その他[]
3-3	どのような交通手段なら使ってよ いとお考えですか。 【複数回答】	1. 利用しない 2. 路線バス 3. コミュニティバス(元成し号) 4. 予約型集合バス※ 5. 病院などの送迎バス 6. その他[]
3-4	運行間隔は、どの程度の間隔であ れば利用しますか。 【1つだけ回答】	1. 90 分間隔 2. 60 分間隔 3. 30 分間隔 4. 15 分間隔
3-5	前項(3-2・3-3)で回答した公共 交通が導入された場合、どのくらい の頻度で利用しますか。 【1つだけ回答】	1. 利用しない 2. ほぼ毎日(週 5~7 日) 3. 週に数日(週 2~4 日) 4. 週に1日 5. 月に 2~3 日 6. 年に数日

※予約型集合バスとは、小田地区で運行している事前に場所や時間を予約して集合によってそれぞれの目的地まで移動する交通サービスです。他地域ではデマンドバスやデマンドタクシーなどと呼ばれています。

【質問4】公共交通に関して、ご意見があれば自由にご記入ください。

ご回答ありがとうございました。

2. バス停リニューアル

2-1 バス停リニューアルの概要

■概要

バス停標識については、経年劣化により一部、色あせするなど見苦しい状況にあるため、視認性やイメージアップの向上等を目的としたバス停標識のリニューアルを今後、順次実施する。

■スケジュール(案)

- ・平成28年度 バス停デザイン検討
- 平成29年2月 第2回交通会議で報告
- ・平成29年度 予算に応じて制作
順次入替



3. 茅ヶ崎駅北口周辺交通環境改善検討

3-1 調査内容

■概要

交通が集中する茅ヶ崎駅北口周辺は路線バスの定時性・速達性に支障を来している。しかし、遅延状況について十分な把握ができていない。

昨年度、路線バスの遅延状況を把握するため、バス停間所要時間データ(提供: 神奈川中央交通(株))を用いてバス停間の遅れ時間について分析した。

今年度は、さらに、発生頻度など遅延状況について詳細な把握を図る。

■データ(昨年度データ)

- ・期 間: 平成28年4月～8月(昨年度と同様のデータ)
- ・対象系統: 茅ヶ崎駅北口を起点する31系統

■スケジュール(案)

- ・平成29年2月 第2回交通会議で報告

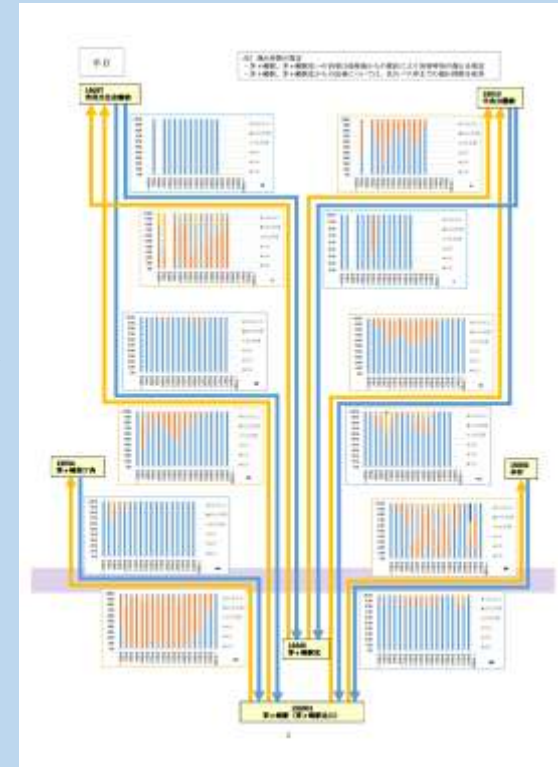


図 バス停間の遅れ時間